



一般社団法人 わらび座

第二期決算 ご報告と御礼

2022年9月1日～2023年8月31日

一般社団法人わらび座

第二期決算のご報告と御礼

平素より、一般社団法人わらび座の活動にご支援、ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

この度、一般社団法人わらび座の社員総会にて
第二期（2022年9月1日～2023年8月31日）の
決算書類報告・事業報告を行い、承認されましたので、
ご報告させていただきます。

多くの皆様のご支援のもと、
無事に三期目を迎えることができました。
心より感謝申し上げます。



経営数値

損益計算書 概要

単位：千円

	第一期	第二期	対経常収益 比率	対前年比
経常収益	222,613	573,194	—	257%
事業費	71,933	126,811	22.1%	176%
管理費	145,933	376,090	65.6%	258%
当期経常増減額	4,747	70,293	12.3%	1481%
当期正味財産増加額	3,236	47,358	8.3%	1463%

損益計算書 総括表

単位：千円

科目	第一期	第二期	前年比率
収入	222,613	573,194	257%
ツアー公演料収入	87,118	249,583	286%
劇場事業収入	57,075	203,933	357%
アウトリーチ収入	6,310	34,255	543%
寄付金収入	26,047	17,139	66%
スポンサー収入	38,369	49,887	130%
「わらび座の会」会費収入	5,470	15,925	291%
その他収入	2,224	2,472	111%
運営費用	217,866	502,901	231%
事業費	71,933	126,811	176%
管理費	145,933	376,090	258%
当期経常増減額	4,747	70,293	1481%
当期一般正味財産増加額	3,236	47,358	1463%
当期正味財産増加額	3,236	47,358	1463%

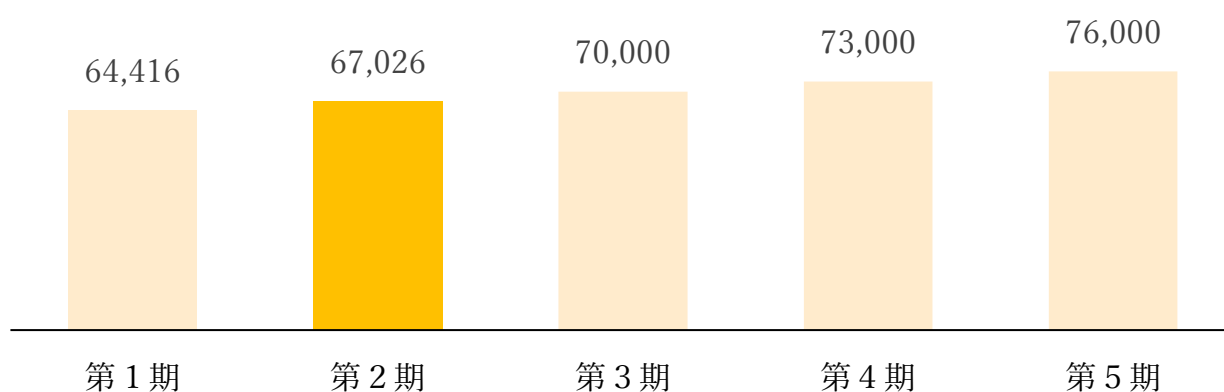
現状と目標

寄付金・スポンサー収入

単位：千円

第1期 実績	第2期 実績	第3期 目標	第4期 目標	第5期 目標
64,416	67,026	70,000	73,000	76,000

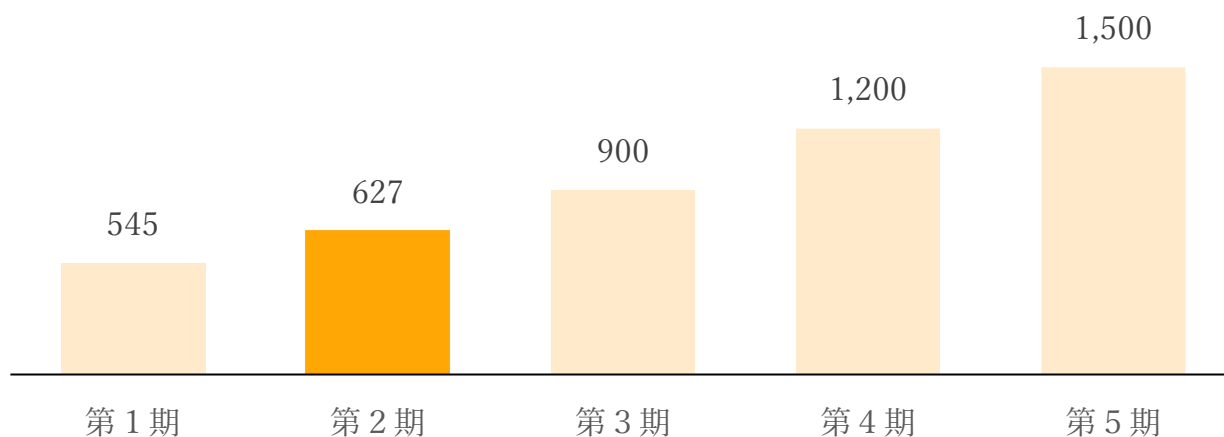
※ふるさと納税による委託事業費は含まれておりません



わらび座の会 有料会員数

単位：人

第1期 実績	第2期 実績	第3期 目標	第4期 目標	第5期 目標
545	627	900	1,200	1,500

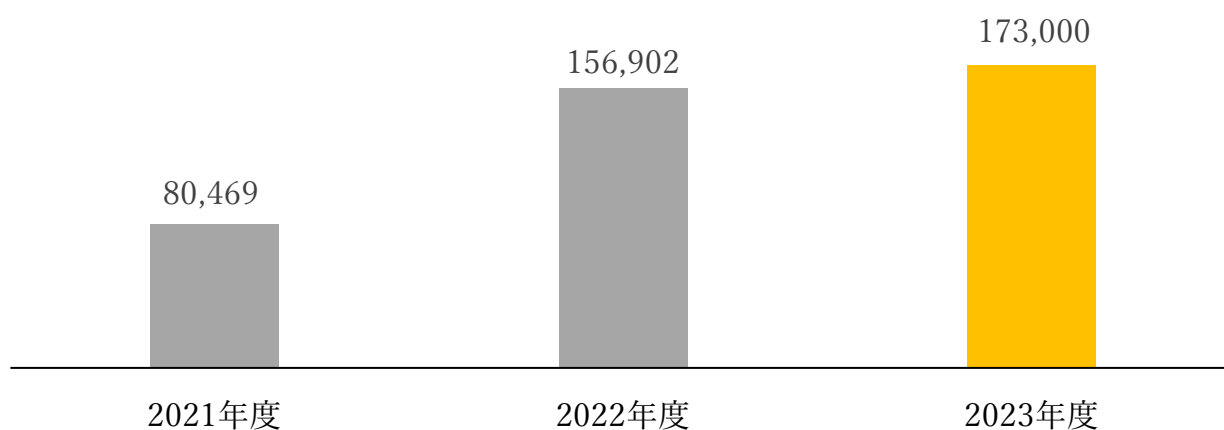


現状と目標

主要公演の観客動員数

単位：人

	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 見込み
合 計	80,469	156,902	173,000
わらび劇場	19,452	19,095	20,000
全国公演	61,017	137,807	153,000



2023年度 主な上演作品

- ・祭シアター「HANA」（秋田県主催）
- ・ミュージカル「北斎マンガ」
- ・ミュージカル「いつだって青空」
- ・ミュージカル「ワンス・アポン・ア・タイム・イン・アキタ」
- ・ミュージカル「新解釈・三湖伝説」



経営数値に関する分析

第二期は当期正味財産増加額47,358千円で着地し、2期連続黒字経営を達成することができました。これもひとえに支援者・スポンサー及び関係団体の皆様、公演を観に来て下さるファンの皆様のお陰です。

第一期に引き続きユニット経営を導入し、プロスポーツ経営の収入構造を参考に、外的要因に左右されることのない経営基盤の強化を図ってまいりました。収入全体に対するスポンサー・寄付金等公演事業外収入の割合は21%となっております。

第一期は事業期間が6か月であることから、前年対比はほとんど比較の対象にはなりません。当初目標に対して収入は約54,000千円上振れ、運営費用は約10,000千円削減できました。新型コロナウイルスの影響を受けた文化芸術団体に対する補助金や支援金の活用によって収入を増やし運営費用を削減することができました。

逆に第三期はこのような補助金や支援金が減少するため、この部分の収入が大幅に減ることが予測されます。その分、スポンサー等の収入を増やしていく活動がこれまで以上に重要となります。

入場料や公演料のみに依存しない新たな仕組みの構築を急ぐと同時に、アフターコロナにおいて時代の変化に応じた入場料や公演料収入を増やしていく施策を講じていくことが重要と考えております。

今後の事業方針

■ 劇場事業

「生活に感動を。いのちに芸術を」
 わらび劇場、あきた芸術村・小劇場では秋田・日本の歴史や文化を生かしたオリジナル作品を上演し、県内外の子どもたちに人生で初めての感動体験を提供することで、子どもたちの情操涵養と、県外からの集客を促進し交流人口拡大に貢献します。また地域文化・民族芸能の継承と再創造をはじめ、地域や社会課題への解決のため文化芸術の力を活用した事業に積極的に取り組んでまいります。



■ 公演事業

秋田県内をはじめ、全国各地で公演を行います。アフターコロナに入り、国省庁による補助事業が縮小傾向にあるため、より自立的な公演のあり方が求められています。新たなファン、スポンサーの獲得に向けて、大都市公演の準備を進めます。そのほか支援企業・団体による公演の買い取り、アウトリーチ事業の開催、「わらび座の会」会員拡大を通して、収入の安定化をはかってまいります。



■ スポンサーシップ事業

WGA「一般社団法人わらび座」支援協議会のサポートもいただきながら、寄付金・スポンサーを拡大してまいります。同時にフレンドリータウン協定締結自治体のネットワークも構築し、より地域と連携しながら、劇団ならではの社会貢献事業を創出します。現在、秋田県内の12市町村と協定を締結しております。



最後に

秋田県外からの修学旅行も2019年の6～7割ほど戻ってまいりました。コロナ禍では体験することの出来なかった、皆で歌い踊り、声を出して喜び合い、感動を共にすることで人間としての喜びを全身で感じている子どもたちの姿が印象的でした。

交流人口拡大を目的とした企業版ふるさと納税を財源とした秋田県からの委託事業を受託し、東北六大祭りをモチーフにした参加型ノンバーバルステージ、祭シアター「HANA」をあきた芸術劇場ミルハスにて上演しました。言葉なしでわかる日本の民俗芸能を基盤とした参加型舞台は、子どもからお年寄りまで幅広い世代で楽しめ、海外のかたにも楽しんでいただけるコンテンツになりました。

「衆人愛敬をもて、一座建立の寿福とせり」

人々に感動と喜びを提供することで、従業員一人一人の幸せを実現し、人間らしく豊かで平和な社会に貢献することを法人理念として掲げ、わらび座にしかできない感動による新しい価値を創造し続けてまいります。

引き続き、ご指導賜りますようよろしくお願い申し上げます。



祭シアター「HANA」